

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成20年11月14日
【四半期会計期間】	第138期第2四半期(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)
【会社名】	株式会社ソトー
【英訳名】	SOTOH CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 高岡 幸郎
【本店の所在の場所】	愛知県一宮市竈屋五丁目1番1号
【電話番号】	0586(45)1121(大代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理担当 中島 紀男
【最寄りの連絡場所】	愛知県一宮市竈屋五丁目1番1号
【電話番号】	0586(45)1121(大代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理担当 中島 紀男
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

回次		第138期 第2四半期連結 累計期間	第138期 第2四半期連結 会計期間	第137期
会計期間		自 平成20年 4月1日 至 平成20年 9月30日	自 平成20年 7月1日 至 平成20年 9月30日	自 平成19年 4月1日 至 平成20年 3月31日
売上高	(千円)	4,187,803	2,141,610	8,643,955
経常利益	(千円)	352,157	157,259	652,629
四半期(当期)純利益	(千円)	228,356	91,285	406,667
純資産額	(千円)		19,117,282	19,570,933
総資産額	(千円)		23,367,542	25,344,187
1株当たり純資産額	(円)		1,380.09	1,404.57
1株当たり四半期 (当期)純利益	(円)	16.45	6.58	28.99
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	(円)			
自己資本比率	(%)		81.8	77.2
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	172,359		1,093,653
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	540,325		1,545,379
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	464,540		1,335,054
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)		2,721,369	3,534,858
従業員数	(名)		718	719

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれて
いる事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

3 【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4 【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成20年9月30日現在

従業員数(名)	718
---------	-----

(注) 従業員数は、就業人員であります。

(2) 提出会社の状況

平成20年9月30日現在

従業員数(名)	344
---------	-----

(注) 従業員数は、就業人員であります。

第2 【事業の状況】

1 【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当第2四半期連結会計期間における生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	生産高(千円)
染色、整理加工事業	1,984,235
テキスタイル事業	14,670
不動産賃貸事業	
合計	1,998,906

(注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第2四半期連結会計期間における受注実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	受注高(千円)	受注残高(千円)
染色、整理加工事業	1,891,417	668,827
テキスタイル事業		
不動産賃貸事業		
合計	1,891,417	668,827

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結会計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	販売高(千円)
染色、整理加工事業	1,968,396
テキスタイル事業	6,140
不動産賃貸事業	167,073
合計	2,141,610

(注) 1 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	当第2四半期連結会計期間	
	販売高(千円)	割合(%)
宮田毛織工業株式会社	249,911	11.7

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

3 【財政状態及び経営成績の分析】

文中に記載した金額には消費税等の金額は含んでおらず、将来に関する事項の記載については当第2四半期連結会計期間末現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結会計期間の経営成績は、売上高21億4千1百万円、営業利益5千8百万円、経常利益1億5千7百万円、四半期純利益9千1百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

「染色、整理加工事業」は、サブプライムローン問題に端を発した金融危機の影響に伴い消費者の節約志向による衣料消費の不振等により売上高が減少したこと、原油・原材料価格の高騰によりコストアップとなったこと等の結果、売上高19億6千8百万円、営業利益1千万円となりました。

「テキスタイル事業」は、売上高6百万円、営業損失3千9百万円となりました。

「不動産賃貸事業」は、売上高1億6千7百万円、営業利益8千6百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べ19億7千6百万円減少し、233億6千7百万円、純資産は4億5千3百万円減少し191億1千7百万円、自己資本比率は81.8%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間のキャッシュ・フローの状況並びに現金及び現金同等物の増減と残高は以下のとおりとなりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が1億4千1百万円となったこと等により、5千4百万円の資金の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入が6億2千9百万円があったこと等により、6億9千7百万円の資金の増加となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得による支出3千5百万円があったこと等により3千4百万円の資金の減少となりました。

この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、第1四半期連結会計期間末と比べ7億1千7百万円増加し、27億2千1百万円となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結会計期間の研究開発費の総額は2千4百万円であり、全て染色、整理加工事業に関するものであります。

なお、当第2四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期連結会計期間において、第1四半期連結会計期間末に計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更並びに重要な設備計画の完了はありません。

また、当第2四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、除却等はありません。

第4 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	60,000,000
計	60,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成20年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成20年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	13,933,757	13,933,757	東京証券取引所 (市場第二部) 名古屋証券取引所 (市場第二部)	
計	13,933,757	13,933,757		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成20年8月1日 (注)1		15,371		3,124,199	2,782,812	359,224
平成20年8月1日 (注)2	1,437	13,933		3,124,199		359,224

(注)1 資本準備金の減少はその他資本剰余金への振替によるものであります。

2 発行済株式総数の減少は自己株式の消却によるものであります。

(5) 【大株主の状況】

平成20年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社ダイドーリミテッド	東京都千代田区外神田3-1-16	1,595	11.4
大同生命保険株式会社	大阪市西区江戸堀1-2-1	846	6.0
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2-7-1	624	4.4
三井住友海上火災保険株式会社	東京都中央区新川2-27-2	500	3.5
株式会社トーア紡コーポレーション	大阪市中央区瓦町3-1-4	405	2.9
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区内幸町1-1-5	375	2.6
株式会社りそな銀行	大阪市中央区備後町2-2-1	367	2.6
株式会社ワールド	神戸市中央区港島中町6-8-1	326	2.3
明治安田生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内2-1-1	221	1.5
株式会社十六銀行	岐阜県岐阜市神田町8-26	198	1.4
計		5,459	39.1

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成20年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 81,500		
完全議決権株式(その他)	普通株式 13,840,400	138,404	
単元未満株式	普通株式 11,857		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	13,933,757		
総株主の議決権		138,404	

(注) 1 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式92株が含まれております。

2 「完全議決権株式(その他)」の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が100株(議決権1個)含まれております。

【自己株式等】

平成20年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ソトー	愛知県一宮市籠屋 5 1 1	81,500		81,500	0.5
計		81,500		81,500	0.5

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成20年 4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高(円)	1,118	1,108	1,100	1,100	1,115	1,099
最低(円)	1,000	1,069	1,050	1,035	1,051	1,010

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所市場第二部におけるものであります。

3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の異動はありません。

第5 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成20年8月7日内閣府令第50号）附則第7条第1項第5号ただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び当第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)の四半期連結財務諸表について、あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,025,558	976,955
受取手形及び売掛金	1,034,863	885,075
有価証券	2,291,533	2,666,372
完成品	26,647	11,614
仕掛品	123,479	119,730
原材料及び貯蔵品	119,604	113,103
繰延税金資産	370,181	406,409
その他	194,137	270,031
貸倒引当金	200	200
流動資産合計	5,185,805	5,449,092
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,257,362	2,322,528
機械装置及び運搬具(純額)	1,077,920	1,128,646
土地	968,544	968,390
その他(純額)	148,200	125,840
有形固定資産合計	1 4,452,028	1 4,545,405
無形固定資産	8,061	8,061
投資その他の資産		
投資有価証券	13,076,353	14,757,510
長期貸付金	3,631	3,631
繰延税金資産	209,702	193,859
その他	440,499	388,916
貸倒引当金	8,539	2,290
投資その他の資産合計	13,721,647	15,341,627
固定資産合計	18,181,737	19,895,094
資産合計	23,367,542	25,344,187

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	248,448	245,519
未払法人税等	17,355	174,829
未払費用	267,651	320,484
役員賞与引当金	2,500	13,000
工場閉鎖損失引当金	172,444	172,444
その他	790,356	806,236
流動負債合計	1,498,757	1,732,515
固定負債		
退職給付引当金	543,220	550,974
預り保証金	926,929	1,984,628
繰延税金負債	783,076	897,180
負ののれん	485,770	555,745
その他	12,506	52,209
固定負債合計	2,751,502	4,040,737
負債合計	4,250,260	5,773,253
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,124,199	3,124,199
資本剰余金	1,347,001	3,201,379
利益剰余金	13,163,842	13,179,310
自己株式	100,944	1,813,753
株主資本合計	17,534,099	17,691,135
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,583,182	1,879,798
評価・換算差額等合計	1,583,182	1,879,798
純資産合計	19,117,282	19,570,933
負債純資産合計	23,367,542	25,344,187

(2)【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	4,187,803
売上原価	3,769,940
売上総利益	417,863
販売費及び一般管理費	¹ 334,586
営業利益	83,276
営業外収益	
受取利息	59,669
受取配当金	163,199
投資事業組合運用益	4,136
負ののれん償却額	69,974
その他	11,440
営業外収益合計	308,420
営業外費用	
支払利息	10,044
売上割引	24,135
その他	5,359
営業外費用合計	39,539
経常利益	352,157
特別損失	
固定資産処分損	18,815
特別損失合計	18,815
税金等調整前四半期純利益	333,342
法人税等	² 104,986
四半期純利益	228,356

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
売上高	2,141,610
売上原価	1,927,590
売上総利益	214,020
販売費及び一般管理費	1 155,865
営業利益	58,154
営業外収益	
受取利息	35,626
受取配当金	12,040
投資事業組合運用益	40,174
負ののれん償却額	34,987
その他	3,110
営業外収益合計	119,717
営業外費用	
支払利息	2,864
売上割引	16,184
その他	1,563
営業外費用合計	20,612
経常利益	157,259
特別損失	
固定資産処分損	15,310
特別損失合計	15,310
税金等調整前四半期純利益	141,948
法人税等	2 50,663
四半期純利益	91,285

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	333,342
減価償却費	346,510
負ののれん償却額	69,974
貸倒引当金の増減額(は減少)	6,249
役員賞与引当金の増減額(は減少)	10,500
退職給付引当金の増減額(は減少)	7,753
受取利息及び受取配当金	222,869
支払利息	10,044
有形固定資産処分損益(は益)	18,815
有価証券売却損益(は益)	1,472
投資事業組合運用損益(は益)	4,136
売上債権の増減額(は増加)	149,787
たな卸資産の増減額(は増加)	25,283
仕入債務の増減額(は減少)	2,929
未払費用の増減額(は減少)	52,833
未払消費税等の増減額(は減少)	17,129
その他	97,899
小計	92,511
利息及び配当金の受取額	222,869
利息の支払額	10,044
法人税等の支払額	132,976
営業活動によるキャッシュ・フロー	172,359
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の増減額(は増加)	9,996
有形固定資産の取得による支出	420,937
有形固定資産の売却による収入	3,572
投資有価証券の取得による支出	44,405
投資有価証券の売却による収入	631,384
投資事業組合からの分配による収入	225,854
預り保証金の返還による支出	953,192
その他	7,403
投資活動によるキャッシュ・フロー	540,325
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	376,700
自己株式の取得による支出	87,855
その他	14
財務活動によるキャッシュ・フロー	464,540
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	832,506
現金及び現金同等物の期首残高	3,534,858
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	19,016
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,721,369

【継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日至平成20年9月30日)	
1	<p>連結の範囲に関する事項の変更</p> <p>連結子会社である株式会社ソトープラザは平成20年4月1日に連結子会社2社(関東整染株式会社及び株式会社ソトーテクロス)及び非連結子会社1社(カンセン商事株式会社)を吸収合併しております。</p> <p>この結果、前連結会計年度まで非連結子会社であったカンセン商事株式会社の合併直前の貸借対照表は株式会社ソトープラザに引継がれ、連結の範囲にも含まれております。</p>
2	<p>会計処理基準に関する事項の変更</p> <p>棚卸資産の評価に関する会計基準の適用</p> <p>「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成18年7月5日企業会計基準第9号)を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。</p> <p>この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第2四半期連結累計期間の売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ7,545千円減少しております。</p> <p>なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。</p>

【簡便な会計処理】

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日至平成20年9月30日)	
1	<p>棚卸資産の評価方法</p> <p>当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。</p>
2	<p>法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法</p> <p>法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。</p> <p>繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。</p>

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)		前連結会計年度末 (平成20年3月31日)	
1 有形固定資産減価償却累計額	16,226,239千円	1 有形固定資産減価償却累計額	16,148,863千円
2 受取手形割引高	282,430千円	2 受取手形割引高	328,843千円

(四半期連結損益計算書関係)

第2四半期連結累計期間

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
1 販売費及び一般管理費の主なもの	
給料手当	68,647千円
役員報酬	36,894千円
減価償却費	4,634千円
役員賞与引当金繰入額	2,500千円
退職給付費用	11,503千円
貸倒引当金繰入額	6,249千円
研究開発費	38,579千円
2 法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。	

第2四半期連結会計期間

当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
1 販売費及び一般管理費の主なもの	
給料手当	30,248千円
役員報酬	17,494千円
減価償却費	2,410千円
役員賞与引当金繰入額	500千円
退職給付費用	7,312千円
貸倒引当金繰入額	82千円
研究開発費	24,144千円
2 法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。	

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	
現金及び預金	1,025,558千円
預入期間が3か月超の定期預金等	98,472 "
追加型公社債投資信託	1,794,283 "
現金及び現金同等物	2,721,369千円

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	13,933,757

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	81,592

3 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成20年6月27日 定時株主総会	普通株式	376,211	27	平成20年3月31日	平成20年6月30日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成20年11月14日 取締役会	普通株式	374,008	27	平成20年9月30日	平成20年12月1日	利益剰余金

5 株主資本の著しい変動に関する事項

当社は、平成20年5月15日開催の取締役会決議に基づき、会社法第178条の規定に基づく自己株式の消却を実施いたしました。この結果、当第2四半期連結会計期間において資本剰余金及び自己株式が1,854,374千円減少しております。

(リース取引関係)

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

所有権移転外ファイナンス・リース取引について通常の賃貸借取引に係る方法に準じて処理を行っておりますが、当四半期連結累計期間におけるリース取引残高は前連結会計年度末に比べて著しい変動が認められないため、記載しておりません。

(有価証券関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成20年9月30日)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成20年9月30日)

デリバティブ取引の四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(ストック・オプション等関係)

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

	染色、整理 加工事業 (千円)	テキスタイル 事業 (千円)	不動産賃貸 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,968,396	6,140	167,073	2,141,610		2,141,610
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,310	678		2,988	(2,988)	
計	1,970,706	6,818	167,073	2,144,598	(2,988)	2,141,610
営業利益又は営業損失()	10,240	39,085	86,999	58,154		58,154

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

	染色、整理 加工事業 (千円)	テキスタイル 事業 (千円)	不動産賃貸 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,845,740	12,121	329,941	4,187,803		4,187,803
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,424	678		4,102	(4,102)	
計	3,849,164	12,800	329,941	4,191,906	(4,102)	4,187,803
営業利益又は営業損失()	41,119	67,363	191,760	83,276		83,276

(注) 1 事業区分は、産業分類を勘案して区分しております。

2 各事業の内容は次のとおりであります。

染色、整理加工事業.....繊維製品の染色、整理加工

テキスタイル事業.....繊維製品の製造、販売

不動産賃貸事業.....量販店に対する店舗の賃貸等

3 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成18年7月5日企業会計基準第9号)を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。これに伴い、従来の方法によった場合と比べ、「染色、整理加工事業」については、当第2四半期連結累計期間の営業損失が7,545千円増加しております。

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

本邦以外の国又は地域における売上がないため、該当事項はありません。

(企業結合等関係)

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

記載すべき事項はありません。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
1,380.09円	1,404.57円

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎

項目	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	19,117,282	19,570,933
普通株式に係る純資産額(千円)	19,117,282	19,570,933
差額の主な内訳(千円)		
普通株式の発行済株式数(千株)	13,933	15,371
普通株式の自己株式数(千株)	81	1,437
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(千株)	13,852	13,933

2 1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益

第2四半期連結累計期間

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
1株当たり四半期純利益	16.45円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

2. 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

項目	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円)	228,356
普通株式に係る四半期純利益(千円)	228,356
普通株主に帰属しない金額の主要な内訳(千円)	
普通株主に帰属しない金額(千円)	
普通株式の期中平均株式数(千株)	13,880

第2四半期連結会計期間

当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
1株当たり四半期純利益	6.58円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。
2. 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

項目	当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円)	91,285
普通株式に係る四半期純利益(千円)	91,285
普通株主に帰属しない金額の主要な内訳(千円)	
普通株主に帰属しない金額(千円)	
普通株式の期中平均株式数(千株)	13,863

(重要な後発事象)

当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
会社法第165条第2項の規定による定款の定めに基づく 自己株式の取得	
当社は、平成20年10月1日開催の取締役会において、 会社法第165条第2項の規定による定款の定めに基づ き、自己株式を取得することを決議いたしました。	
(1) 理由	: 資本効率の向上及び今 後の経営環境の変化に 対応した機動的な資本 政策の遂行を図るため
(2) 取得する株式の種類	: 当社普通株式
(3) 取得する株式の数	: 1,000,000株(上限)
(4) 株式取得価額の総額	: 1,500,000千円(上限)
(5) 自己株式取得の期間	: 平成20年10月2日から 平成21年3月24日まで

2 【その他】

第138期（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）中間配当については、平成20年11月14日開催の取締役会において、平成20年9月30日の最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	374,008千円	
1株当たりの金額		27円
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成20年12月1日	

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年11月14日

株式会社ソトー
取締役会 御中

あずさ監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 柴田 光明

指定社員
業務執行社員 公認会計士 鈴木 賢次

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ソトーの平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析の手段その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ソトー及び連結子会社の平成20年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲には、XBRLデータ自体は含まれておりません。